

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



「視野を広くする」

中学生の頃、周囲の大人たちからよく言われていた言葉がある。サッカーを習っていた時は「視野を広く持て。」、生活面では「周りをよく見て行動しなさい。」と。

様々な場所、場面で「視野」や「見る」ということを、たくさん言われたので気になり、当時、視野について調べてみた。その中で、「背伸びして視野を広げているうち、背が伸びてしまうこともあり得る。それが人生の面白さである。」という言葉を見つけた。これは城山三郎の言葉である。当時は、自分なりにしか解釈することしかできていなかったが、進路を決め、就職、社会人として過ごす中で、視野を広げることがとても大切なことだと感じている。就職する際に自身がどんな仕事に就くのか決めたり、教師として多くの人と関わる中で周りの変化に気づいて行動したり、様々な場面が必要となっている。

また、これからは「Society 5.0」と呼ばれる、変化の激しい社会に移行して

きている。その社会を生きていく中で、視野を広げ、自分に必要な情報、快適に暮らしていく術を見つける力が必要になるのではないかと考える。そして、現在ある職業の大半が三十年、五十年後にはなくなるとも言われている。これから社会に出る子どもはもろろんのこと、大人も今の仕事について考える必要がある。どんな職業が無くならないのか、これからの社会ではどんな事が求められるのか情報を集める必要がある。

個人的なことだが、鏡野中学校で二年目が終わり三年目を迎えている。二年間担任をした生徒もいよいよ三年生になった。これからの将来の進路について、具体的に目標を持ち進んで欲しい。その時、周りの変化と自分自身にしっかりと目を向け、広い視野を持ち、自身の考える理想の大人になつていけるように頑張つてほしい。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

鏡野中学校 吉本 卓矢

のびのびひろば しぜんいっぱい!えがおいっぱい! みんなおおきくなあれ!

あたたかな日差しを浴び、草木も生き物たちもいよいよ活動をはじめました。こども園の子ども達のことをいつも見守ってくれている男山、女山の山頂も4月にはピンク色に変わり、春の訪れを感じます。子ども達は晴れた日には散歩に出かけて、花を摘んだり虫を探したりと身近な自然に触れて春を満喫しています。

令和3年度は、156名の子ども達でスタートしたかがみの中央こども園。大野保育園当時から受け継いでいる伝統ある男山登りに今年も年長児が挑戦します。

四季折々に移り変わる豊かな自然に親しみながら、心も体も大きくたくましく成長していきます。

菜の花咲いた!きれいだね♪

だんごむし〜つけた!



みてみて!



さくらだ〜いすき♡



桜満開!春爛漫♡



いつも子どもたちを見守ってくれている男山

(かがみの中央こども園)